

令和元年度 卒業生・保護者の皆様へ

卒業生の皆様、保護者の皆様、あらためまして、ご卒業おめでとうございます。このメッセージは、差し出がましいとは思いましたが、会長である私、宮本の希望で、最後にお祝いと感謝の言葉をみなさんに贈りたい旨を学校へ切にお願ひし、このような形で届けようとなりました。お子さまとご覧頂けたら幸いです。

保護者の皆様、小学校から続く9年間の義務教育が修了しました。その大きく大切な節目を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

それでは、卒業生のみなさんに、はなむけの言葉を贈りたいと思います。これらの生活に一つでもヒントになればと思います。

あなたたちは、義務教育修了を機に、初めて人生の岐路に立ち、これから進む道を自ら選択しました。それは、社会人としての一步を踏みだしたことを意味します。これからは自らが責任をもって行動することです。責任が増えますが自由も増えます。責任と自由は表裏一体です。どちらか一方だけでは成り立ちません。ぜひ両立した生活を送ってください。そして、自分の夢に向かい、進んでください。夢があなたにもたらす力は無限です。必ずできる、叶うと思えば叶います。なぜなら、強い想いは、夢に向かう行動に変わるからです。

例えば、世の中にはモノがあふれていますが、それらは全て、一人の夢や、想いが形になったものです。つまり人は、思ったことを実現する能力があるということです。もちろん簡単ではありませんが、私たちの人生の先輩たちは、強く想い行動し、実現したということです。一人でなしえたわけではありません。必ず多くの協力者がいます。一緒に夢を叶える仲間を増やしてください。そして、夢が叶うまでわき目も振らず、あきらめずに突き進んでください。

何かを成し遂げたり、身につけたりするとき、一人前と認めてもらうための一つの目安があります。1万です。1万回、1万時間、1万日などです。どんな世界でも、一つのことを1万以上続けると1人前と認められるといわれています。はじめの一步、まずはそこまで少しでも早くやり切ってください。そして、そこから更なる高みを目指してください。

人は自分の鏡です。自分が笑えば、鏡の中の自分も必ず笑います。同様に、相手に笑顔で接すれば、きっと笑顔を返してくれます。それが、良い関係を築くと私は信じています。

社会の中では、人は関わりあいの中で生きています。SNSのような便利なツール

ができて、面と向かって相手を見て、言葉で伝えるのがコミュニケーションの基本だと思います。それが自分自身の成長につながるし、夢の実現にもつながっていると
思っています。

あたりまえは当たり前じゃない。当たり前と思えることは奇跡です。これまであなたは楽しい事だけでなく、悩み苦しんだこともあるでしょう。でも、あなたのお父さんお母さんも、あなたが生まれてから今日まで、あなたのことを想い、たくさん悩み苦しんだはずです。きっと、あなたの成長、あなたの笑顔を喜びにして乗り越えてきたはずです。ここまでお子様を育ててこられたお父様お母様、お疲れさまでした。同じ保護者として敬意を表します。

皆さんへのお願いです。食事や洗濯、部活のサポート、家族の協力はあたり前ではありません。今日までありがとう。これからよろしくお願いしますと、感謝の気持ちをぜひ伝えてください。そして、これからもずっと、ありがとう、ごめんなさいを言える人でいてください。それこそ当たり前に言ってください。素直になれないこともあるでしょう。でも、本当は大事に思ってくれていると、わかっていますよね。心の中では感謝しているのでしょう。でも、感謝は言葉にしましょう。言葉は大事です。よい言葉を発すると、空気が変わるし、気持ちもよくなります。

あなたは、かけがえない存在です。家族はあなたを愛しています。今度は、あなたたちの番です。自分から誰かのために愛ある行動をしてください。まず自分から、相手が喜ぶことをしてあげてください。そして、次にその人が誰かに喜んでもらうという連鎖が生まれます。この連鎖を、よいことの先送り、ペイフォワードといいます。これは、人間関係を良くし、世の中を良くします。そして何より、夢が実現します。

顔を上げ、前を向いてください。両親への感謝を胸にここまで成長した自分を誇り、これからの道を堂々と歩んでください。歩みを止めず、突き進んでください。人のため、自分のための日々のたゆまぬ努力の先には、夢と希望に満ちあふれた明るい未来があります。

自分とその未来は自らの手で変えることができる！

最後になりますが、これまでPTA活動に対するご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。今日の横川中PTAの立派な活動があるのは皆様が積極的に協力をして下さいましたおかげです。この場をお借りしまして、深く感謝申し上げます。

横川中学校を巣立ってそれぞれの夢に向かう皆さんの更なる活躍を期待して、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和二年三月十日